

平成29年5月28日(日) 10:00～  
大田スタジアム

第88回都市対抗野球大会 東京都二次予選  
第4代表トーナメント 準決勝

VS

鷺宮製作所

序盤3回は2塁も踏めず、チャンスを作ることができなかったが、4回、2番・宮川、3番・竹内の連打で1死1、2塁のこの試合初のチャンスを作るが、4番・加藤、5番・小川が倒れ追いつくことができない。

5回、7番・吉田、8番・道端の連打で1死1、3塁とすると9番・新城の打席でスクイズを仕掛ける。これが相手のフィルダースチョイスを誘い同点に追いつく！さらに1死1、2塁のチャンスが続いたが勝ち越すことはできない。

7回、8回とヒットは出たもののチャンスを広げることができず同点に追いつくことができない。9回も4番・加藤からの攻撃だったが三者凡退に打ち取られて試合終了、1点差に届かず1-2で敗れた。

【試合経過】

チーム名	イニング	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
明治安田生命	安打	1	0	0	2	2	0	2	1	0	8
	得点	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
鷺宮製作所	安打	1	2	1	1	1	0	0	0	X	6
	得点	0	1	0	0	1	0	0	0	X	4

先発の上田は2回、2塁打とヒットで1死1、3塁のピンチを招くと、8番を2ストライクと追い込みながらもセンターへ犠牲フライを打たれ1点を先制される。しかし後続は打ち取り最少失点にとどめる。

同点に追いついた直後の5回、先発の上田が四球とヒットで1死1、3塁のピンチを招くと3番にレフトへの犠牲フライを打たれまたも勝ち越しを許す。

7回、先発の上田が3つの四死球で2死満塁のピンチを作ったところで2番手として三宮が登板すると、きっちりと続く打者を打ち取って追加点を許さない。さらに8回には3番手として小林が登板し三者凡退に打ち取り見方の反撃を待つ。

各選手成績は下段の表をご確認ください。

【打撃成績】

打順	守備	選手名	所属	打席	打数	安打				打点	盗塁	犠打	犠飛	四死	打率
						計	単	二塁	三塁						
1	5	島田	八王子支社	4	4	1	1								0.250
2	9	宮川	上野支社	4	4	2	2								0.500
3	7	竹内	町田支社	4	4	1	1								0.250
4	3	加藤	八王子支社	4	4	0									0.000
5	DH	小川	町田支社	4	4	0									0.000
6	8	増野	川崎支社	4	4	1	1								0.250
7	6	吉田	総合法人第五部	3	3	1	1								0.333
8	2	道端	丸の内支社	3	3	2	2								0.667
9	4	新城	新宿支社	3	2	0				1		1			0.000
計				33	32	8	8	0	0	0	1	0	1	0	0.250

【投手成績】

登板	選手名	所属	勝敗	回数	打者	球数	安打	三振	四死	失点	自責	防御率
先発	上田	立川支社	×	6 2/3	29	123	6	4	4	2	2	2.70
2番手	三宮	横浜支社		1/3	1	7	0	0	0	0	0	0.00
3番手	小林	上野支社		1	3	7	0	1	0	0	0	0.00
計				8	33	・	6	5	4	2	2	2.25